



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター
平成30年7月18日
No.145

平成30年度森林と人との協議会を開催

6月15日（金）西目屋村の白神山地ビジターセンター会議室において「第13回白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」を開催しました。当日は学識経験者はじめ行政担当者やボランティア団体代表者などの委員に出席いただき、例年協議会では、主に白神山地森林生態系保護地域（世界遺産地域）周辺の①NPO等と連携した自然再生活動②モニタリング調査③各ボランティア団体の活動内容、といった保全管理について協議ならびに意見交換を行っています。

最初に、東北森林管理局小林森林整備部長から挨拶があり、続いて、田村座長（青森県林業会議参与）の進行により議事に入りました。

議事では、当センターや各団体から、昨年度の活動報告と今年度の取組予定について説明があり、アクセス道路となる鱒ヶ沢の町道赤石溪流線の不通により活動が停滞しているといった報告や、サギやカワウなど鳥による川魚の食害を懸念する発言がありました。

議事その他では、青森県内のマツクイムシ、ナラ枯れ被害対策に関する報告が県西北地域県民局、津軽森林管理署からあり、民有林・国有林協調した監視・被害木処理に取り組むとの説明がありました。また、白神山地世界遺産地域周辺におけるニホンジカの生息状況について、位置図で確認しながら目撃情報などに関して当センター上杉所長から報告したところです。

今後も協議会の意見を踏まえ、より多くの人の参加をいただきながら地道に自然再生活動を行っていきたいと考えています。（吉川）



学識者や各団体との意見交換



小林森林整備部長の冒頭あいさつ

各団体が行う自然再生活動への連携協力

6月16日（土）～6月17日（日）、日本山岳会青森支部主催による「ブナ林再生&自然観察会」が白神山地・奥赤石（鱒ヶ沢町）の国有林内で行われ、初日の16日、当センター所長による安全指導を実施しました。山岳会では毎年野営しながら「白神山地のブナ林再生事業」を行っていますが、活動箇所が奥地のため、より安全知識が要求されます。上杉所長からは、手工具の扱い方や作業間隔、蜂やマムシ災害の注意事項、転倒滑落など身振り手振りを交えた話をし、最後は「安全作業で自然再生をお願いします。」と指導を行いました。



安全指導を行う上杉所長

6月24日（日）、白神山地を守る会主催による「白神山地ブナ植樹フェスタ」が赤石川上流域（鱒ヶ沢町）の国有林内で行われ、当センターは津軽森林管理署とともに植樹指導を行ってきました。当日は好天に恵まれ、永井代表の挨拶に続き、津軽署の唐澤署長、白神山地の自然保護のため「白神ぶなの基金」による募金活動を展開している株式会社モリタ（本社：秋田市）からも、貴重な動植物の保護に取り組む旨挨拶がありました。今回は地元鱒ヶ沢高校生や青森市内の大学生、そのほか活動に賛同する多くの有志の参加がありました。大型ブナ苗木の運搬は随分大変でしたが、帰り道の爽やかなブナ林散策もあって、みんな貴重な植樹体験になったのではないのでしょうか。



唐澤署長からのあいさつ



植樹作業中の様子

6月30日（土）、日本ユネスコ協会連盟主催による「守ろう地球のたからもの育樹活動」が弘前市湯口山国有林で行われ、当センターは津軽森林管理署ほか協力団体

とともに植樹指導を行ってきました。ユネスコ協会では白神山地の緑を未来の子どもたちに引き継いでいくため、伐採跡地に植栽し、森林の再生を図っており、活動には三菱UFJフィナンシャルグループと青森銀行の行員がボランティア参加しました。

この日の作業形態は「除伐、つるきり、枝おろし」であり、以前植樹した木の周りを下刈鎌で刈り払ったうえ、ノコギリで除去する木を伐採することが主なものでした。炎天下での下刈りや初めての伐採作業に大粒の汗をかきながらも、無事にこの日の作業を終えることが出来き、みなさん一様に充実した表情をみせていました。翌日は今年も世界遺産地域にある高倉森への登山活動を行ったとのこと。なお、育樹や保育管理については津軽人文・自然科学研究会が担っていて、常日頃、協力関係にある多くの団体が応援に駆け付けていました。（吉川）



除伐作業中の様子



参加者全員で記念撮影

「暗門の滝」安全祈願祭及び合同パトロールに参加

世界自然遺産白神山地で有名な名勝のひとつが「暗門の滝」（西目屋村）です。

ここは、白神山地森林生態系保護地域の緩衝地域内にあり、溪流沿いの歩道を登り、片道約1時間でたどり着ける3段からなる滝です。

6月26日（火）「白神山地・暗門の滝」森林環境整備推進協議会による、今年度の「暗門の滝」周辺における安全を祈願して安全祈願祭が行われ、安全祈願祭終了後、滝開き前の合同巡視を村役場、津軽森林管理署、当センターなどの関係者やガイド団体のメンバーら約20人が参加し、暗門休憩所から第三の滝までの約2kmを歩きました。平成27年に落石とみられる事故が発生し、川を渡ることが必要な上級者向けの歩道となっていたコースを「落石注意」等の看板や溪流に木の板を渡す簡易的な整備等に不備や改善点がないかを確認したう



木の板を渡す簡易的な整備

えで、初級中級者向けとして開通することが出来るか参加関係者の意見等が出され、ヘルメットの着用等の安全対策等を継続することとし通行可能と判断がされました。

ただし、第三の滝から上流は現時点では上級者向けのままとなっています。

(上杉)



暗門第三の滝（H30.6.26 撮影）

天狗岳管理歩道刈り払いに参加

6月28日（木）に環境省西目屋保護官事務所の呼びかけに応じ、天狗岳管理歩道刈り払いに参加しました。当日の参加者は、主催の環境省を筆頭に津軽森林管理署、白神山地ビジターセンター、青森県知事委嘱巡視員、津軽白神森林生態系保全センターからの8名となりました。

作業開始前に参加者全員で作業工程について打合せを行い、先発隊は一度天狗岳まで向かい下山しながらの刈り払い作業を、後発隊は歩道入口から山頂に向かいながら刈り払いを行う事になりました。管理歩道の刈り払いは、毎年定期的に行っているため、藪になりそうな箇所などを刈り払うだけで作業を済ませることができました。

天狗岳までの歩道は、尾根伝いのルートとなっていて、両側の谷間には赤石川と追良瀬川が流れています。天気良ければ、尾根からの眺望も楽しめたはずが、現地は小雨と濃霧のため残念な事に。ルートの途中には、馬の背と呼ばれる足場が非常に狭まる場所があり、呼び名の如く馬の背中ほどの幅しか足場がありません。崩壊地的な地形でもあるため見晴らしが良い場所で、視界が良好であれば赤石川を見下ろす事ができたのですが・・・。



馬の背付近：霧のため視界不良

作業の方は、12時頃まで行いましたが、徐々に風が強さを増し、雨足も強くなりつつある気配であったため撤収することとなり、当日の作業は終了となりました。

今後も白神山地に関わる取り組み等が関係機関毎に実施されると思いますが、白神山地に関わる機関として、各機関と連携して活動していければと考えています。(三浦)

〈発行〉津軽白神森林生態系保全センター

〒038-2754 青森県西津軽郡鯉ヶ沢町大字米町 25-2 電話:0173(72)2931 FAX:0173(72)2932

